

《茨城支部ニューズレター 2019 年度第 1 号》

平成 31 年 4 月 30 日（日）に「第 1 回資格更新研修会」と「茨城支部総会」が行われました。

【第 1 回資格更新研修会】

1 場所：茨城県総合福祉会館

2 参加者：35 名

3 概要

(1) テーマ：事例検討会「青年期・成人期の就労移行支援」

(2) 講師及び事例提供者

講師：野口雄樹先生（茨城県発達障害者支援センターあい・センター長）

事例提供：朝日華子先生（NPO 法人茨城居場所研究会）

(3) 内容

①事例報告，質疑応答

②グループごとの事例検討 5 グループ

③事例検討の発表

- ・相談支援専門員がキーパーソンとなり，就労・生活をトータルで支援。
- ・相談支援専門員にどうやってつなげるか。
- ・好きなこと得意なことを生かす仕事や場を提供。
- ・話ができる場を確保。
- ・だれがどの部分を支援するのかを決める。など

「本人・保護者の願い」を主軸に，対象者の抱えている課題やその背景，環境について，ワークシートを使用して明確にしていきました。そのうえで，関係機関がどのように支援していったらよいか検討しました。どのグループも積極的な意見交換が行われ，具体的な支援策を立てることができました。様々な立場の方々が協議することにより，事例について多面的に掘り下げることができたのではと思います。

④ 事例検討会まとめ（野口先生より）

- ・茨城県の発達障害者支援センターの概要。
- ・障害に関する配慮と職場の要求水準を考慮した就労形態。
- ・障害福祉サービス等の概要。
- ・障害者総合支援法（自立支援給付・地域生活支援事業）について。
- ・相談支援専門員が中心になりサービス等利用計画を作成。
- ・個別支援計画とサービス等利用計画の関係性。
- ・就労定着支援（平成 30 年度より）について。
- ・本日の検討事例について（グループホームのタイプの確認，自立生活援助（平成 30 年度より），生活保護制度について）。

野口先生からは，青年期・成人期の就労移行支援にかかわる法や制度の概要，福祉サービス利用の流れや相談支援体制の実際について，詳しくご講義いただきました。今後の事例検討に生かしていきたいと思えます。

【総会】

茨城支部総会は、出席者 29 名、委任状 41 名の計 70 名で成立しました。成立要件は現会員数 86 名の過半数 44 名以上の参加です（委任状含む）。下記の議事について協議を行い、承認されました。

2018 年度 活動報告
2018 年度 会計報告
2019 年度 活動計画案
2019 年度 予算案報告
支部役員を選出について
規約改正案

<お知らせ>

○第 2 回研修会 「発達性ディスレクシアの検査法とその支援」

日時：2019 年 7 月 28 日（日）13:00～16:30

場所：つくばイノベーションプラザ 大会議室

内容：宇野彰先生による昨年度の研修会で学んだアセスメントに基づき、実際に支援した成果について助言指導いただきます。

※受講者に制限がありますので、詳細はホームページをご覧ください。

○第 3 回研修会（第 1 回公開講座）

日時：2019 年 10 月 13 日（日）13:30～16:45

場所：つくば国際会議場 中会議室 406

内容：「気になる子どもの発達と支援～乳幼児から思春期まで～」

講師：榊原洋一先生（お茶の水女子大学名誉教授・医学博士）

※詳細につきましては、茨城県支部のホームページに随時更新されますのでご確認ください。

○事例検討会（12 月 14 日，2020 年 3 月 8 日）

近日中に事例の公募を開始しますので、ふるってご応募ください。

文責 小室明子